

登場人物

越希美江 一月生まれ。高校三年生。演劇部部长。演出担当。役者兼任。文芸ロマンがやりたいと主張する。

長谷川輝美 二月生まれ。高校二年生。役者。SFアクションを主張。

花田美由紀 三月生まれ。高校三年生。脚本担当。冒険 ファンタジーを主張。

川畑ゆうき 四月生まれ。高校二年生。役者。チャンバラ時代劇を主張。役者兼任。

井上尚美 五月生まれ。高校二年生。役者。サスペンスミステリーを主張。

船ヶ山智子 六月生まれ。高校三年生。役者。青春学園ドラマを主張。

西川文乃 七月生まれ。高校一年生。役者。ミュージカルを主張。

武田朋子 八月生まれ。高校三年生。役者。ラブロマンスを主張。

山口晶子 九月生まれ。高校二年生。役者。ギャグコメディを主張。

中村和代 十月生まれ。高校三年生。役者。ホームドラマを主張。

シモテ 十一月生まれ。高校一年生。音響担当。主張なし。

トシノセ 十二月生まれ。高校一年生。照明担当。主張なし。

※【ハイスクールループデュース】バージョンでは、「シモテ」「トシノセ」役をカット。

※「ルーキーリーグ」バージョンでは、「高校演劇部」の設定が「旗揚げ劇団」に変わる。よって、年齢設定は配役に応じて決定することとなる。尚、「担当／主張」はそのまま。

ぷ・ろ・ろ・ー・ぐ

誰かが何かを掘っている……。

やがて、作家・花田が舞台へと上がる。

花田 力強い文字で「ぷ・ろ・ろ・ー・ぐ」と書く。

「誰かが何かを掘っている。ずっと、ずっと」……音楽！

見上げれば、満天の星空。

足元を、どこまでも広がる砂の海。

花田 「見上げれば、満天の星空。足元を、どこまでも広がる砂の海」続いて、ナレーション。

海の上に立つ、たくさんの少女達。

少女たち むかし、むかししの物語。

太陽つて名の星があつた。

だから、僕らは……。

始まりと終わりを知っていた。

街には、朝があり……。

街には、夕暮れがあり……。

街には、夜があつた……。

太陽は、昇つて沈んだ。

そして、また昇つた。

地平線の彼方からやつて来る、光の波。

それを僕らは「アシタ」と呼んでいた。

少女が砂の海で見つけたのは銀色の箱。

花田 卜書。「少女は何かを見つけたつ！小さな銀色の箱。開くと、原稿用紙の束……」

少女、箱の蓋を開く……。

箱の中には、赤茶けた原稿用紙の束。

花田 表紙には文字があつて……

少女 L・O・M・O・I・I・O・W

花田 卜書。「少女は、表紙を捲る……」

少女 今日はとても不幸な一日だった。

声 今日……。一日だった。

少女 そんな時、私はこの言葉を噛み締める。

花田 アシタは明日の風が吹く。

声 アシタは明日の風が吹く……。

少女 この胸に希望が溢れて来る。勇気が満ちて来る。やがて私を眠りの世界へと誘っていく。

声 希望……。勇氣……。誘っていく……。

少女 そんな物語を私は書きたい。……つてわけで、タイトルは「明日」。砂漠の少女は旅立つ、地

平線 の向こうへと。「明日」を探す冒険の始まり始まり……。

声 明日……。旅立ち……。アシタ……。

風が吹き抜ける。

少女 「明日」って何だろう……

声 何だろう……。

花田 少女のモノローグ。

少女 時は、西暦三億年。

部員たちの声 えーっ！

花田以外の部員達、演技を中断。

少女の姿は、花田へと移っている。

少女 (花田)時は、西暦三億……。西暦三千年。(まあ、それぐらいのこと)太陽が沈んだまま

もう二度と昇らなくなってしまう頃の地球が舞台です。(そんな日も来るだろう)一日中が夜。(んー)一日の区別がないって方が正しい。つまりっ。明日が来ないので。人々はいつしか「明日」という言葉がかつてあったことさえも忘れてしまっている。だから少女は分からなかった。「明日」って何だろ?でもっ。なんだか心に響くその言葉。なんだかとても懐かしく、なんだかとてもせつなくて。なんだか元気が沸いて来る。(そんな感じなのだっ)こうなったら、もう探すっきゃない。さあ、冒険ファンタジーの扉を開けよう!

一陣の風が吹き抜ける。

少女(花田)の手にあった原稿用紙の束が飛ばされる。

少女(花田)あっ!

全員 あっ!

原稿用紙の一枚一枚が宙を舞う。

そのほとんどは、白紙……。

部員たち ト書。「その時、一陣の風が吹き抜けたっ」

少女の手にあった原稿用紙の束が飛ばされる。風に舞う、脚本。次のページから

は、白紙。白紙……」

声 白紙……。白紙……。

山口 ハクシヨン!これは、アドリブ。

部員たち (声にならない)えっ……!

間。

越 アクシヨン!

と、とにかく、幕は開いたっ。

第1ラウンドへ……、ゴング!!

一場

時は、ずーっと昔……。

場所は、演劇部部室。芝居の稽古中。

作家・花田の書いた台本を元に、部員達が演じている。

舞台上には、武田と山口。

あっ、それと、ノートに向かう花田。

とある高校の玄関先。放課後。

山口 とある放課後。私は、下足室の下駄箱。

武田、登場。辺りをキョロキョロ。

花田 エリカの場合……。

フラッシュバック。

◇ ◇ ◇
武田を中心に、部員達の円がある。

武田 私、この3年間、ずーっと男役やったしさあ。最後までいい、ヒロインやりたいやん。せっかくなら、ラブロマンスのヒロイン。素敵な恋もできんかったしさ……。

◇ ◇ ◇

どうやら武田は、女子高生役のよう。

山口 (両手を挙げる) あっ、これフタです。

武田 えっ!!

突然動く下駄箱に驚く、武田。

武田 またや。(下駄箱に) あんた、下駄箱やねんからじつとときいや。バカっ。

山口 すいません……。

花田 アーちゃんの場合。

フラッシュバック。

◇ ◇ ◇

山口を中心に円がある。

山口 私は、その……。えーっと……。

武田 あんた、ボケれたらそれでええんやろ。はい、終わりっ。

◇ ◇ ◇

武田、北西側の窓を少し開く。

吹奏字部の練習する音が聞こえてくる。

武田 吹奏楽部、練習中。オッケー。(窓閉める)

武田、北東側の扉を少し開く。

野球部の練習する音が聞こえてくる。

武田 野球部も、オッケー。(扉閉じる)

武田、南東側の窓を少し開く。

生徒会の議論する声が聞こえる。

武田 生徒会、会議中。オッケー。(窓閉める)

武田、鞆の中から封筒を取り出す。

山口 あつ、ラブレター！

武田、封筒を開封。中身の手紙を開く。

山口 (盗み読み) 愛しのタクヤ様へ。私はタクヤ様の事がチヨウ好きつ。明日の放課後、美術準備室の前で待つてます。えりかより。

武田、手紙を封筒の中に戻す。
続いて、タクヤの下駄箱を探し始める。

武田 向かって右から、1、2、3の上から1、2、ここや！(蓋を開く) くさつ！えつ……。あつ、そう。左からつ。1、2、3の1、2、(蓋を開く) うーん、無臭。ここで正解つ。タクヤ様。んーまつ。(封筒へと熱いキッス)

チャイム鳴る。武田、封筒を下駄箱へ。

山口 あつ、サッカー部が帰つてくるつ。隠れろ！

下駄箱の陰へと隠れる、武田。

山口 彼女の名は夢子。夢見る少女。何を夢見てるか？決まってるじゃない！白馬に乗った王子様が 迎えにやつて来る時よん。果たして夢子の運命は？！ラブロマンスが始まるぞ！

船ヶ山 (タクヤ役)、爽やかに登場。

山口 あつ、タクヤ君！

船ヶ山 (額の汗を拭う) あーつ、青春つて最高！

花田 フナの場合……。

フラッシュバック。

◇ ◇ ◇
船ヶ山を中心に円がある。

船ヶ山 私な、舞台の上で普段の自分を変えたいねん。イメージを破るつて言うの？おとなしい、真面目つて思われてるやん。まあ、実際そうなんかもしれんけど、自分でも意外な面つてあるはずや思うね。だから、こんなに正反対の役が希望や。ストレートに感情が出る人種。

◇ ◇ ◇
その時、南東側の窓が開く。

女生徒達 (窓から顔を出す) タクヤせんぱーい！

船ヶ山 君たちも、最高？

女生徒達 最高！キヤー！

窓、閉まる。

山口 皆の憧れ……

不敵に笑う、武田。

山口 もわーん。彼女の心の声。フッフ、可哀想な子猫達。もうすぐタクヤの体は私一人のもの。

船ヶ山、自分の下駄箱の蓋を開く。

船ヶ山 くさっ！でも、青春の匂い！

武田 えっ！臭い方？そんな・・・

その時、武田の背後に川畑が登場。
彼女は、侍のいで立ち。腰に刀。

川畑 ここで、何をしておるー

花田 バタコの場合・・・。

フラッシュバック。

◇ ◇ ◇
川畑を中心に円がある。

川畑 おじいちゃんがコレ、大好きでしてね・・・最近ほとんど寝たきりになってもうて、元気ないんですよ。今度の舞台、おじいちゃん呼ぼうて思てる んです。アレつけた私が見れたら、きつとおじいちゃん・・・。

◇ ◇ ◇

いきなりの侍登場に驚く、武田。

武田 何で、この展開・・・？

川畑 己、新撰組だ。覚悟せい！ターっ！

武田目がけて刀を振り下ろす、

武田、斬られる。

武田 何で私が・・・タクヤ様・・・。アイ、ラブ・・・、ユー・・・。ガクッ。

船ヶ山の足元に血まみれで倒れる武田。

船ヶ山 僕の初恋の人ーっ。おのれっ！

船ヶ山、懐からナイフ。川畑へ向かう。

川畑、それをかわして、切り捨てる。

川畑 また。つまらぬ物を斬ってしまったわ。

川畑、颯爽と去る。

二つの死体と一人の？下駄箱が残る。

玄関の扉の向こうから、中村の声。

中村の声 警部さん、こつちですー！

走り込んでくる、中村。

中村 ナンマイダ、ナンマイダ。

井上、登場。彼女は警部。

井上 ここが殺人現場ね。

花田 イノッチの場合・・・

フラッシュバック。

◇ ◇ ◇

井上を中心に円がある。

井上 ミステリーなら、何でも。金田一少年の英訳本で英語の勉強しているくらいですからね。将来は、探偵になるんです。で、世界の謎を解き明かしてやるんですよ。ミステリーの世界に浸っていると、色んな悩み事が吹き飛んでしまつてね・・・。

◇ ◇ ◇

現場の状況を調べる、井上警部。

下駄箱の山口が、井上に敬礼。

山口 ご苦労様です。こー見えても、どんな難事件もたちまち解決してしまう凄腕警部、井上殿。

井上 この切り傷。凶器は日本刀ね。・・・で、あなたがこの死体の第一発見者。

中村 え、ええ・・・。

井上 その時の状況を教えてもらえる？

中村 はい・・・。今日はPTAの総会がありましたね。校門を入ったところで、こちらの方から悲鳴が聞こえてね・・・ん？この青年・・・。木村さんちのタクヤ君やないの！

井上 あなた、ガイシャをご存じなんですネ！

中村 この子、カッコいいのよ。ブロからも狙われてる凄いサッカー選手でねえ。ほんで、うちの娘ったら、彼にお熱を上げててね。ついでにこの私までも。オホホホ・・・。で、こちらに倒れているお嬢さんは、まさか、彼女？えっ！ゆ、夢子やないのー！。

花田 カップの場合・・・。

フラッシュバック。

◇ ◇ ◇

中村を中心に円がある。

中村 家族揃ってゴールデンタイムのホームドラマを見ている時が一番好きな、つて言うか、幸せを感じる時間なんよね。家族っていいなあ。つてね、しみじみ思ったりして・・・。

◇ ◇ ◇

娘の死体の前で泣き崩れる、母・中村。

中村 夢子ー！

井上 娘さん、……ですか。

中村 ええっ！こ、こんな無残な姿に……。あー、いろいろなことが走馬灯のように思い出されてくるわ。あなたが生まれたのは……。そう、忘れはしないわ。桜が満開でしたよ。昭和57年の3月……。えーつと……。いろいろなことが思い出されてくるわ。あなたが幼稚園に通ってた頃よ。庭に雪が積もってたわ。家族皆で、焚き火を囲ってねえ……。

越の声 回想……。

中村の回想シーン。

中村の一家が皆で焚き火を囲んでいる。

中村 (川畑に) おとうさん。

川畑 (船ヶ山に) おばあさん。

船ヶ山 (武田に) 夢子。

武田 (井上に) おにいちゃん。

井上 (西川に) おねえちゃん。

西川 さあ、皆で歌いましょう！

花田 アヤノンの場合……。

フラッシュバック。

◇ ◇ ◇

西川を中心に円がある。

西川 縁の下の力持ちでいいんです。ここって時に歌います。お芝居にはまだ自信がないんですけど、歌でなら何とかできますから。歌って人の心を正直にさせる力があると思うんです。

◇ ◇ ◇

山口は、焚き火役。

家族全員 ハイイ。

西川 さん、はいっ。

家族全員＋焚き火で「焚き火」を合唱。

回想シーン、終わり。

中村 夢子ー！まだまだ思い出されてくるわ。あなたが小学六年生の夏休みよ。家族揃ってアメリカ旅行を……。

越の声 回想……。

再び、中村の回想シーン。

庭でキャンプファイヤーをする中村家。

中村 (川畑に) ファーザー。

川畑 (船ヶ山に) グランドマザー。

船ヶ山 (武田に) ユメーコ。

武田 (井上に) ブラザー。

井上 (西川に) シスター。
西川 レッツ。シンギンダー
家族全員 イエース。
西川 スリー、フォーツ。

家族全員 ♪ラララメーリカ、ラララメーリカ・・・

回想シーン、終わり。

中村 夢子ー！

その時、衝撃音！

気がつけば、誰かが倒れている。

長谷川、登場。

長谷川 ここは・・・皆さん、今はいつです？

花田 テルちゃんの場合・・・

フラッシュユバック。

◇ ◇ ◇

長谷川を中心に円がある。

長谷川 日常から抜け出す感覚がいいんですよ。人間 関係とか社会との関わりとか、そんな煩わしい
現実 から逃げ出したいくなる時。私は、タイムマシンや宇宙船に乗って出発するんですよ。

◇ ◇ ◇

長谷川、立ち上がる。

中村 西暦二千年。

長谷川 本当ですか！やった！タイムスリップ成功！

山口 タイツをスパッツに変更？

長谷川 始めまして、過去の世界の皆さん。私は、未来の世界を救うべく、未来からやって来た。未来
の戦士、未来です。

二つの死体を見つける、長谷川。

長谷川 あれ？この二人はどうしたんですか？

中村 夢子ー！娘ですよ。あっちがその彼。こんな無残な姿に・・・。

長谷川 (少し考えた後) よしっ。おばさん。この未来に任せてよ。

長谷川、懐からペンのような物を出す。

(例：ウルトラマンのビームフラッシュユ)

長谷川 タイム、スリップー

長谷川、ペンのスイッチを押す。

瞬間、光に包まれて……。

時間が少し戻って……。

タクヤ役の船ヶ山が下駄箱を開ける。

船ヶ山 くさっ！でも、青春の匂い。

武田 えっ！臭い方？そんな……

武田の背後に川畑が……

川畑 ここで何をしておる！

武田 何で、この展開……

川畑 己、新撰組だな。覚悟……

その時！

川畑と武田の間へ、長谷川が登場。

長谷川 待てー！！未来、パーンチ！

長谷川、川畑を一撃で倒す。

その頃。船ヶ山、下駄箱に手紙を発見。

船ヶ山 何や、この手紙？

長谷川（武田に）お嬢さん、怪我はないかい？

武田 素敵っ。（頬を赤らめる）ポッ！浮気しちゃいそうっ。

中村が駆け込んでくる。

中村 警部さーん、こつちです！ナンマイダ、ナンマイダ……。あれ？

武田 おかん！何してるん？

中村 PTA総会よ。で、悲鳴が……。あれ？

井上警部、やって来る。

井上 ここが殺人現場……。あれ？

同時、船ヶ山、例の手紙を開いている。

下駄箱・山口、手紙の文面を盗み読み。

山口 愛しのタクヤ様へ。

武田 えっ！どうして臭い方なん？

長谷川 あっ、下駄箱ったら……。

山口 エヘッ。ハミング、キュー！！

中村・井上・長谷川・川畑、ハミング。

いつしか、越・西川も加わっている。

六人、武田と船ヶ山の回りをステップ。

山口 私はタクヤ様の事がチヨ―好きっ。明日の放課後・・・、以下省略。えりかより。
武田 まっ、恥ずかしいっ・・・。
船ヶ山 夢子さん。僕も君のことがずっと前から好きだったんだ。
武田 タクヤ君！

抱き合う二人。

そんな二人を祝福する、全員。

西川 嬉しい時は、さあ、皆で歌いましょう！

輪になって手を繋ぐ、

西川 さん、はいっ。

越以外全員 ♪♪さざんか・・・

越 ♪♪口笛はなぜ・・・

歌は、「アルプスの少女ハイジ」へ。

中村 ……ってー！

越以外全員 何で「ハイジ」やねん、部長！

越 ほな、なんでおまえら「さざんか」やねん！

越以外全員 だって、アヤノンが・・・。

越 私かって、こうなったら、やっぱ・・・。

気まずいムード。

エピソード

そこは、砂の海。

花田 「見上げれば、満天の星空。足元を、どこまでも広がる砂の海」

空を仰ぐ、少女達。

少女達 むかし、むかししの物語。

太陽つて名の星があった。

だから、僕らは・・・。

始まりと終わりを知っていた。

街には、朝があり・・・。

街には、夕暮れがあり…。

街には、夜があった・・・。

太陽は、昇って沈んだ。

そして、また昇った。

地平線の彼方からやって来る、光の波。

それを僕らは「アシタ」と呼んでいた。

声 アシタ、アシタ、アシタ・・・。

花田 幕・・・。

溶暗。
明転。

越 本日はどうも・・・。
全員 ありがとうございます。

全員、客席へ向かって頭を下げる。
拍手を受ける、間・・・。
いきなり顔を上げる、中村。

中村 えっ！

花田以外全員 まさか、これで終わり？ハナちゃん！

稽古、中断。

ラウンド終了のゴング！

演劇部に、緊急事態発生。

第2場

稽古、ストップ。

花田を取り囲む、メンバー。

彼女は、脚本担当。

花田 ごめん・・・。

長谷川 アククションシーンってまさかあれだけなんですか。

井上 刑事ってよりは探偵の方がイメージやったんですけど。

武田 これじゃあ、出演シーンのほとんどが死体やんか、そら最後に結ばれたけど、私はもつと恋の障害が欲しいの。

中村 悲劇やなくて、もつと団地妻むんむんで。

川畑 犯人が侍って、こんなほとんどSFやないですか。私もそのタイムスリップってやつっすか？

西川 それはそうと、下駄箱がしゃべるってムリありすぎだとおもうんですけど。私ちつとも笑えませんでした。

山口 だって、あれは台本通りなんやもん。

武田 そういえば、あのハッククションって何？あれはマジ、ハクションなん、それともネタハクションなん？

山口 すいません、あれはネタハクションです、

武田 もー、あーちゃんたら。

山口 そうそう、（西川を指して）あなたの強引なミュージカルの方がよっぽど無理があると思うんやけど。

船ヶ山 うちのたくや君は結構いけてたとおもわへん？

井上 あんな青春男、今の時代、ギャグの世界でしか存在しないと思うんですけど。

武田 それやったらあなたの役やん。

山口 えーうちやっていいんですか！やったー！！

船ヶ山 勝手に取らんとつてや。

長谷川 ちよつと待ってくださいよ。この芝居ってギャグコメなんですか。

井上 それ以外なんやっちゆうねん。部長の「明日を探す少女」なんか、もう大笑いやん。

越 ファンタジックでええと思うんやけど。きつと、彼女の冒険の先には、夢と希望が待ってるんや。なあ、花ちゃん。

花田 た、たぶん……。

中村 それで、あの後彼女はいつたどこに行つたん。

川畑 確かにそうですよね。「冒険ファンタジーの扉を開けよう」といって扉を開けた彼女はあの後いつたどこへ行つたんでしょね。

長谷川 確かに疑問は残りますよね。酸素は太陽光線と水から作られるんですよ。

武田 えくちやうで！！

長谷川以外の全員、それぞれにバカ話。

長谷川 あの……ミーティングを続けませんか。

みんな、元に戻る。

井上 そもそも、太陽がなかったら寒いどころやないですよ。何もかも凍りついて生活自体が無理。

中村 あかりはどうするん？光がない世界って設定やんな。

山口 えー、真っ暗の中で芝居するんですか。やったー。

越 そんなわけないやん。どれもこれもファンタジーなんかから理屈無用。

川畑 そう！てるちゃん。SF担当のおぬしの意見とは思えませぬなあ。タイムスリップの現実性を証明してから、ファンタジーを攻撃するのが筋でござす。

長谷川 タイムスリップっていうのは……

中村 (さえぎって) よっ、西郷どん！！

武田 西郷どんってだれ？

再び、長谷川以外の全員、それぞれにバカ話、

あまりのばかばかしさにその場から出ていく長谷川。

静まる一同。

山口 てるちゃん、トイレかな。

中村 頑張つてこいよ。

山口 タイツをスパッツに変更よりも、下駄箱のドアは自動ドアの方がええと思うんですけど。

越 作者に聞いてよ。

中村 それで、少女はあの後どこに向かうん？

越 私に言われてもね……それも作者へ。

中村 じゃあ、花ちゃん。

山口 ついでに私も。花ちゃん先輩。

花田 それは……

長谷川 (突然戻ってきて) このままやったら全然おもしろくないと思うんですけど。

しゅん。

井上 もうコンクールまで、残り一週間か……。

西川 えっ、そうなんですか。

中村 あれで終わりじゃあねえ。

山口 しめて10分でした。

武田 つてことは、出番の時間から考えると私は10分で一番。つてことはヒロインー！じゃあ、この後の展開は私中心で！！

船ヶ山 あれはあれでOKやけど私の本当の希望は不良少女やってんけどなあ。もうワンシーンだけ頼むわ。不良少女が夢子にからむシーン。

井上 黙ってるとなんか言うてくたさいよ。はな先輩。

越 そうやで、はなちゃん。ホンマは書きたいこといっぱいあったんやろ。

越、花田以外の全員 そうなん？

長谷川 じゃあ、説明してくたさいよ。

部長たち (それぞれに) 先輩！

越 はなちゃん。

花田、よろよろとメンバーの中央へと出る。

花田 だから・・・頑張る・・・。

長谷川 頑張るって・・・。なあ、いのっち。

井上 そんなことより、先が知りたいだけなんです。

花田 ……。

越 ちょっと、みんな。花ちゃんばかり責めるんはやめようよ。こうなったんも、そもそもあんたらかて悪いねんで。

井上 部長かて、作者に聞いてよって押しつけたじゃないですか、

中村と山口 確かに！

川畑 責めてるわけじゃないですよ。

西川 質問です。

長谷川 私は正直言っただけです。今度のコンクールで認められるかによって、来年の予定に大きく影響するんですから。

井上 そう。

川畑 全国大会で戦うんは私たちですもんね、

西川 そうかー。

武田 ちょっとまとめてよ、そんなみんなではなちゃん責めてるけど、私ら3年は今度で最後なんやで。うちの好きなようにさせてよ。自分ら来年とかで きるやんか。

中村 副部長も賛成。

武田 え、副部長やったん？

船ヶ山 うち満足やで。ただし、不良少女を一シーンね。

越 あんたらが好き勝手に、こんなんがしたい、あんなんがええって言うからやん。それで、はなちゃんがみんなそれぞれ満足のいく作品にしようと頑張ってくれてるんやろ。

長谷川 それはまあ、そうですけど・・・。

井上 そんな無理ですよ。私のミステリー、てるちゃんのSF。

川畑 私はチャンバラ。

船ヶ山 私は青春ドラマ。

西川 私とはにかくミュージカル。

武田 私はラブのヒロイン。

中村 私は団地妻。

越 私は・・・

山口 私は、自動改札！ウィーン。

間。

井上 以上が合体融合した舞台なんて見たことも聞いたこともないですよ。

中村 はなちゃんは冒険ファンタジーやもんね。

武田 今時ファンタジーなんて流行らへんて。うけねらいなら断然ラブストーリー。ビューティフル

ライブばりの・・・(歌う)

長谷川 (さえぎって) この舞台は私ら2年にとってはコンクール出場のかかった大切な舞台なんです。きっちり作りましょうよ。

武田 きっちりやって、ウチはきっちりしてないってこと？

長谷川 (きつぱりと) はい、先輩。

山口 演劇は実力の世界。この間の舞台で、観客の人気ナンバーワンだったのは、たぶん。このウチ。みんなウチのギャグを待ってるのよ。

中村 私の屋下がりの妻も評判高かったはずよ。主演は私。だったらホームドラマで決まり。

西川 先輩、ホームドラマだけは勘弁してくださいよ。お父さんとかお母さんが出てくるなんてジジ臭いですよ。

中村 え、何？

西川 ミュージカルならジャンルは何でもいいって言いましたが、ホームドラマと組むんだけはいやですからね。そんなの雰囲気「ふるさときゃらばん」になってしまいます。

中村 ええやん。

川畑 時代劇とは組んでもらえるん？

西川 ギリギリセーフでーす。忍者部隊のダンスシーンなんて意外にイカすかも。

船ヶ山 ちなみに青春ドラマやったら。

西川 ウェストサイドストーリーも一応青春ドラマ的ですしね。オッケーです。

武田 ラブストーリーでもあるしな。ウチものつたで。

西川 組むってことなら。やっぱSFアクションでしょ。「禁断の惑星」ばりのロックミュージカル。武田 しょーもな。聞いたこともないわ。

井上 時代はミステリーよ。組むのならこの私と。「金田一少年」「コナン」いまだ続く「土曜ワイド」「火曜サスペンス劇場」。子供から大人まで。ミステリー人気は不動なのだよ、明智君。

中村 でたな！怪人20面相！

山口 「ささかまぼこのフタ」ってどの分野でも入り込めますよね。そんな感じでよろしくお願いします。責任もって、ムード盛り上げますから。

中村 ほったらかしかい。自分ほんまマイペースやな。

越と花田以外の部員たちさあ、はなちゃん！誰を取るの！どれにするの！

メンバー一同、花田に注目。

しばらくの間。

花田 わたしは・・・、今の私たちの純粋な気持ちを、素直に書きたい・・・。

花田の意外な主張に、全員絶句。

越 今の純粋な気持ちって？

花田 今しか書けない、今だけの気持ち。そんな言葉がいっぱい詰まった物語。

長谷川 はな先輩の気持ちは分かりますけど、もうちよつと具体的に教えてもらえませんか？

武田 ちよつと、だまつてくれる？

井上 つまり・・・はな先輩の希望が作品としてはファンタジーになるってこと？

花田 ううん。別にそれにこだわってるわけやない。

船ヶ山 今の気持ちって・・・、ってことは青春ドラマやん。オッケー、オッケー。

花田 そうかもしれんけど・・・。うん。別に結果的にそうなったんやったら、それでもいい。

中村 ってことは、ホームドラマでもええ訳やんね。結果的にそうなんやったら。

花田 うん。

武田 等身大のラブストーリーでもオッケーやろ。

花田 うん。

川畑 時代劇は難しそうっすね・・・？

花田 そうでもない思うけど・・・。

川畑 そうっすか？なんや分かりませんが、よっしゃ！

西川 気持ちに歌にしたら・・・？

花田 それもいい。

山口 自動改札も必要ですよ。

花田 うん、そやな。

井上 つまり、なんでもいいんだ。

長谷川 芝居なら

花田 そう。

越 これじゃあ、議論が一月前に逆戻りやん。

間。

武田 こうしようや！脚本担当はジャンルにこだわってないらしい。つてことは初心に戻って正々堂々、ジャンケンで決めようや。

中村 やっぱりそうやんな。多数決は無理やしな。みんなの希望はバラバラ。よしつ、乗った！

船ヶ山 よっしゃ、ウチも。

西川 私はやらなくていいですよ。私が勝つても、結局誰かとくまなけりや物語になりませんもんね。

川畑 だめだめ。ここは公平に行こうや。実は、踊りと歌は苦手やねん。絶対ミュージカルの要素が

加わるつてのは、反対や。あやのんが勝つたら、相手選 びの第2回ジャンケン大会しようよ。

武田と中村 そうそう！

西川 わかりました、なら勝負します。

長谷川 仕方ないですね。

井上 えく。私、ジャンケン弱いねんもん。

山口 私はいいですよね。

全員 うん！・・・

山口 ですよね・・・（輪の中から離れる）。

全員 じゃかじゃかじゃん、じゃかじゃかじゃん、。じゃかじゃかじゃん・・・

越 （さえぎって）ちよつと、待つてよ。まさかほんまにこれで決めるん？

長谷川 この方法しかないでしょ。

井上 それともはな先輩が一つを選べるんですか。

花田 無理・・・。

越 だつて、ジャンケンでどれか一つが選ばれたとして、一から書き直してもらおうわけでしょ。絶

対間に あわへんつて。

西川 今できてる言うても、たった10分ですよ。状況に大差ないと思うんですけど。

長谷川 方向性さえ決まれば、一週間あれば何とかかりますよ。ねえ、はな先輩。

花田 う、うん。

井上 とりあえず、決めようましょうよ。このままやったら、完成の可能性はゼロに近い。ねえ。は

な先輩。

花田 ごめん・・・。

中村 最善の手を尽くそうや。

武田 同感！

川畑 私も賛成。

西川 私も！

船ヶ山 私はあと不良少女がワンシーンあればよかったんやけど。

花田と越以外の全員 つてことで、全員賛成。

間。

越 じゃあ。演出の私もジャンケンに加わるからね。

長谷川 何かやりたいジャンル、見つかったんですか。

井上 部長こそ、何でもええ言うとなつたじゃないすか。

越 そうやったけど……。ほんまは、遠慮しててん。絶対反対されるもん。

西川 まさか、あれ。ハイジですか。

越 へへへ……。文芸ロマンです。

川畑 なんですかそれ？

越 例えば、ハイジとか、宮沢賢治とか……。シエクスピアでもオツケー。

船ヶ山 小学校の時、どつかの劇団のそんなん、体育館で見たで。

中村 劇団京芸！！

武田 あー言うてまいよつた。責任取りや、あんた。

船ヶ山 退屈で寝てもうたわ。

川畑 ウへー。しょうもなさそう……。

中村 そういうの、一番苦手やねんな。

武田 ロミジュリならオツケーやけど！

「ロミジュリ」を巡って皆再びバカ話。

長谷川 (たまりかねて) あの、ミーティングを続けましょうよ。

越 考えたら、私の希望って一番実現に近いやん。台本あるんやし。いろんな不安が一気に解決！
井上 そうですかあ。はな先輩の気持ちはどうなるんですか？ほったらかしですよ。はな先輩クビつて ことですよ。

山口 ここに来て、もつとも酷い……。

越 勝負は勝負やろ。

全員 げんこつやまのーたぬきさんー……じゃーんけん

花田 (さえぎって) あの！

越 なに！！

花田 私の意見、結局聞いてもらえたんよね。

井上 なんでもええんでしょ。

長谷川 聞いてますよ。

花田以外の部員 聞ってる、聞ってる！

山口 部長以外は！

花田と越以外 そう、そう！

越 ちよつと！ちやうねんて、はなちゃん！

全員 じゃーんけんほいほいどつちだすのくこつちだすのく

花田 (再びさえぎって) あのー！

越 なによ。

花田 そういうことやなくて……。

川畑 まだなんか要望があるんですか、

西川 あつ、ジャンケンの仲間に入つてなかつたですよね。

船ヶ山 そうやん！フアンタジー代表やん！

武田 エーッー確率悪くなる！

中村 仕方ないな。

全員 じゃかじゃかじゃん、じゃかじゃかじゃん……じゃーんけん。

花田 あのー！

全員 何よ。

花田 ジャンケンはいえねん別に、今の私たちの純粋な気持ちのことを……

長谷川 だから、それは……。あれ？なんやっただけ。

井上 聞いてない。そういえば、質問の途中やった。

越 じゃあ、言つてよ。どうぞ。

中村 具体的にやで。

花田 何を作るかってことは、何を残すかってこと。

武田 なんかい難しい言い回し！

長谷川 黙つて聞いてください。どうぞ。

花田 それは、私たちの明日を探すことやと思うの。

長谷川 はあ？

武田 うるさいんですけど。

花田 高校生活最後の舞台。これからは、大人としての舞台が待っている。だから、私たちが未来を探してたこと。明日を一生懸命見つめていた証しのようなドラマを作りたいの。言葉を残したいの。

明日来る明日のために……

花田以外 明日来る、明日のために……

花田 明日になって、もし道に迷ったら、昨日までの気持ちの記録がすぐに確認できる記録のようなものを作っておくねん。それが、私たちにとっては、今作ろうとしている物語やと思う。舞台やと思うのね。

花田の言葉を心でかみ砕くメンバー。

だから、長い間……

越 それで？

越と花田以外 それで？

花田 今、みんながやりたいことは全部書きたいねん。それが、今の言葉つてことやし……

長谷川 それは分かりますけど……。でも、結果……

井上 物語のスタートで早くもね……

中村 つまづいてる。

武田 気持ちに未来はあつても作品に明日はない。

山口 うまい！座布団一枚！

花田 それは謝る。私の創造力なんて大したことないし……。だから……

次の言葉がすぐに出てこない、花田。

だから、間……

越 だから？

越と花田以外 だから？

花田 だから、これから先はみんなで書きましようよ！

花田以外 えーっ！

長谷川 ペンは苦手なんですよねえ。

井上 同じく。

花田 みんなが語る物語を私がノートにまとめる。なら、いいでしょ？

川畑 だつたらねえ……

西川 できそうな気も……

船ヶ山 するけどね……

長谷川 どうします、部長。はな先輩がこう言われてますけど？

越 (少し考えて) やってみよう！

武田 うん！おもしろそう、

中村 とにかく進めんわけにはいかんもんね。

山口 止まったままでは前には進まない。

全員 あたりまえやん！

山口 ほんまや。

武田 あーちゃん、明日ガストで反省会。

山口 はい……。

花田 みんなはどんどん創造するの。どんどんその時々のお気持ちを言葉にするの。動くのどんどんやりたいことをやって。どんどん言いたいことを言って……。そして私が記録していく。部長が組み立てていく。芝居に仕上げていく。

長谷川 つまり、物語は成り行き任せってことですね。

越 アシタは明日の風が吹く、ってとこね。

越以外 アシタは明日の風が吹く……。

花田、手をたたく

二場

中村 このメンバーで芝居やれるんも最後やなあ。

武田 そうかあ……。

井上 卒業したらどうするんです、芝居。

中村 できたら、続けたいけど……まだわからんな……

武田 私はこれで終わり。普通の女の子に戻るの。

越 私は続ける。先輩の劇団に入れてもらお思てんねん。どの道進むにしても芝居はやめられん。

花田 無理かなあ……。すぐ就職やもん。両立って難しそうやんか。

船ヶ山 覚悟決めて……。って言うほど自信ないし。青春の1ページってやつ。それでええわ。

長谷川 先輩たちとやれて良かったです、私。

武田 えっ、どうしたん？ガラにもないこと言うて。

長谷川 何か、楽しくやれた。っていうか、楽しくやらなつて思いました。

川畑 好きなことやってるんやもんね。

西川 私、芝居好きです！

中村 オッケー！

山口 いいアルバムにしたいです。

間

中村 さあ、どうする？この問題。

越 いつものやる。

中村 いつもの……

武田 あれ。

越 そう、あれ。きつと、良い出口が見つかる。

花田 そうや、そうや。止まってたら、何も始まらない。て。一步、一步！

全員 うん。いつものね！

いつものアレ、始まる。

花田 うん。もし終わらないなら、終わりなんてなくってもいい。

船ヶ山 それはそれでオツケー。

井上 行き着くところまで。突っ走っちゃいますか！

西川 どんな結末が待っているのかなーっ。

武田 楽しみ！

中村 楽しみ。

山口 ピンチの時はウチのギャグで助けますからっ！

越 あんたの存在が一番不安なの！よーし！みんな！ 集合！

越を中心に円陣を取るメンバー。

越 こうなったら舞台は戦場。まさしくリング！せっかく、それぞれのやりたいことがあるんやか

ら、シーンを奪い合おうよ！誰がラストシーンのセンターを取るか。勝負！

越以外 おうっ！（おのおの準備体操を始める）

越 じゃあ、早速スタート！

中村 本番まで、残り一週間！

長谷川 なんか。プロレスのバトルロイヤルみたいで、フクワクしてきた。私好みの展開っ。

船ヶ山 何、そのバトルロイヤルって？

口々にバトルロイヤルについて話し合う部員たち。

長谷川 （制して）たくさんのレスラーが一同にリングに上がって一斉に試合を始める。ルールは簡単。

とにかく生き残ればいい。最後の一人が勝者ってわけ。スタミナ、駆け引き、運、作戦。チャンスをつかむ。そのすべてに優れたものが栄光を勝ち取るんです。

船ヶ山 ふーん。

越 じゃあ、誰から物語を始めようか？

全員 ハイ！

越 わかった、じゃあファーストシーンはウチらしくジャンケンから。

全員 よっしゃ！

越 物語は、プロログを終えた。明日を探しに冒険を始める少女。行き先はタイムカプセルの中に見つけた一冊の台本「tomorrow」。その中にきつと、「明日」が彼女を待ってる……。さあ、

少女がページを捲った！

全員 「トゥモロー アシタは明日の風が吹く」

シーン1

アクション！

ゴング、鳴る！

三場

改めて、メンバー紹介。

エントリーナンバー、一番。ホームドラマ代表。中村 和代。

二番。ラブロマンス代表。武田朋子。
三番。青春ドラマ代表。船ヶ山智子。
四番。SFストーリー代表。長谷川輝美。
五番。チャンバラ時代劇代表。川畑ゆうき。
六番。ミステリー代表。井上尚美。
七番。ギャグコメディ代表。山口晶子。
八番。ミュージカル代表。西川文乃。
九番。冒険ファンタジー代表。ライター、花田美由紀。
十番。文芸作品代表。ブレイキングディレクター、越 希美江。

向き合うメンバー一同。

物語の先頭バッターを賭けた大勝負、
「じゃんけんバドル」が始まるのだっ。

血みどろの対決の末、山口が生き残る。
これにて、スターターが彼女に決定！

越の声 アクション！

山口、変幻自在の舞台装置ギャグ連発。

山口 「○○○○」！

山口、ガッツポーズ！以上三度の攻撃。

越の声 シーン2！

山口 とある午後。私は、主人公・夢子の家のドレスルームにある鏡。

武田（夢子）が部屋に入って来る。

武田、北西側の窓を少し開く。

武田 デブ姉、食事中。オッケー。（窓閉める）

武田 北東側のドアを少し開く。

武田 ガリ姉、不良少女中。オッケー。（ドア閉じる）

武田、南東側の窓を少し開く。

武田 まま母、厚化粧中。オッケー。（窓閉める）

武田、ダンスの扉を開く。

一枚のドレスを取り出す。

そして、山口が演じる鏡の前へと。

武田 ウワー、可愛い！

山口 うんっ。似合ってる！

武田 よーし、名前、書いちゃおうと。えっ？これ、昔からの癖なの。自分の物って決めたら、書き込まずにはいられなくなるの。

山口 この家で育ったんだもんね。習性よね・・・

山口、掛け時計へと早変わり。

山口 急げ、急げ！タクヤ君との待ち合わせに遅れるぞ。

武田、時計の声に気づかない。

鏡に映る自分の姿にウツトリ・・・

その時、ドアの向こうから声。

越の声 シンデレラ！シンデレラ！

ドアが開く。そこには、ママ母役の越。

越 シンデレラ！

武田・山口 お母様！

花田 そして、コッシーの場合

フラッシュユバック。

◇ ◇ ◇

越と花田が向かい合う。

越 堅いのんがやりたいてってわけちゃうねん。小さい子供から老人までが楽しめるお芝居。そんなんがいいなあって思うねん。それが、私的にはこれになるのね。でも、あえて希望を言えばってとこやし。基本は花ちゃんの書く物語を全力で演出したいってのが正直な気持ちなの・・・

◇ ◇ ◇

ドアが開いた。

越 夢子！

武田・山口 お母様！

越 この部屋には入っちゃダメって言ったわよね。

越、武田の手にある服を取り上げる。

タンスを開ける。

越 そんなにお洋服が好きなんだつたら・・・これも、これも、これも・・・。全部、アイロンをかけておいてちょうだい。

越、部屋中に服を撒き散らす。

越 それが終わるまでは、外出は許しませんからね。わかった！

武田 お母様！私、約束が・・・。

越、部屋を出て行く。

船ヶ山の声 夢子！ 夢子！

部屋を片付ける、武田。
ドアが開く。
不良少女の姉が立つ。

船ヶ山 夢子！

山口 不良少女の！

武田 ガリ姉さん！

船ヶ山 私の靴。磨いとけって言うたやんけつ。

武田 あっ。ごめん。すぐに……。

船ヶ山 お仕置きや！チェーン！

船ヶ山、手のチェーンを、武田目がけて振り回す。武田、見事にかわす。

船ヶ山 やるわねえ。覚えてらっしゃい！

船ヶ山、部屋を出て行く。

川畑の声 夢子！夢子！

ドアが開く。

お菓子の袋を持った川畑が立つ。

川畑 夢子！

山口 食いしん坊の！

武田 デブ姉さん！

川畑 私のお菓子を盗んだでしょ！匂うのよ！

川畑、鏡に映るもう一人の自分を発見。

鏡の世界に迷い込む、川畑。

「特別劇場／鏡の迷宮」

武田 お姉さん！

川畑 私のお菓子、どこに隠したのよ！

川畑、タンスを開く。

タンスの中を物色。全て、撒き散らす。

川畑 この布団の下が怪しいわ。

川畑、布団を引っ繰り返す。

川畑 ないわねえ。まあ、汚いお部屋。片付けておきなさい！

川畑、部屋を出て行く。

山口、掛け時計へ。

山口 急げ、急げ！待ち合わせの時間はもうとつくに過ぎてるぞ！
武田 キャー！もう、ダメ。この恋も終わり……。

山口、再び鏡へと戻って……

山口 行くのよ。やるだけやろうよ！

武田 う、うん。でも、着替えないと。こんな格好じゃあ、嫌われちゃう！あ！！！デブ姉さんが口からこぼしたお菓子のクズで、どの服も汚れてるわっ！どうしたらいいの……。

山口 着替えてる暇なんてないわよ。そのままでもいいじゃない。タクヤ君は、夢子の着飾った姿を待ってるんじゃないはずよ。夢子っていう女の子を待ってるのよ。

武田 うん、わかった。

山口 頑張れ！恋って、待つものじゃない。追いかけるものよ。

武田 ありがとう……。

三人組の声 夢子！夢子！

武田 あっ。

山口 隠れて！

山口、ドアへと早変わり。

武田、そのドアの陰に隠れて……

越、船ヶ山、川畑が部屋へと入ってくる。

越 夢子！

船ヶ山 夢子！

川畑 夢子！

三人組 あれ？

山口 逃げろ！

武田、逃げる

三人組 待て！

山口のドアが三人組の行く手を阻む。

三人組 開けろ！

山口 嫌だよーん！

越、芝居を止める。

次シーンへ向けてのミーティング開始。

そして、準備は整った。

所定の位置に付くメンバー達……

越の右手が「シーン3」を示す！

走る、武田。

山口の踏切が登場。

山口 踏切！ガタン、ガタン……、ガタン！

武田 もうっ！

武田、踏切に捕まり、足を止める。

武田を待つタクヤの姿がオーバーラップする。

山口 ゲイン。ゴー！

踏切の遮断機がアップした。

再び走る、武田。

山口の信号機が登場。

山口 信号！赤！

武田、踏切に捕まり、足を止める。

武田 もう！

気がつけば、武田の横に中村と長谷川。

中村と長谷川も急いでいる。

再び、タクヤの姿がオーバーラップ。

山口 青！

武田、再び走りだす。

やがて躓く、

越の声 シーン4！

声キー！

その時！

武田の回りを突如として取り囲む、謎のエイリアン集団。

そのリーダーは、花田。

花田 あなたが夢子さんね。

武田 え、ええ・・・。

花田 わけあって、あなたの命をいただくわ。覚悟しなさい！

部下達 キー！

武田に迫る、エイリアン集団。

武田 誰か助けてー！

そこへ武士姿の川畑が走り込んで来る。

川畑 待てーっ！

花田 何？

部下達 キー？

川畑 おなご一人に多勢で攻めるとは、何たる卑怯者！断じて、許せん！

武田 そうよ！

花田 貴様、何者？

部下達 キー！

川畑 見てわからぬか？答えは・・・見たまんまじゃっ！

川畑、刀を抜く。

川畑 おじいちゃん、見ててやーっ！

川畑、エイリアン集団を全具斬り捨てる。

川畑 デイア、おじいちゃん……。また、つまらぬものを斬ってしまったわ……。

武田 お侍様……。

その時！ 再び二人を囲む、エイリアン集団。

エイリアン集団 カー！

川畑 おのれ……しつこい、もののけ集団め！あっ！

川畑、北西の空を指さす。

エイリアン集団 カー？

エイリアン集団、北西の空を見る。

川畑 今だ！逃げろーっ！

川畑、武田の手を引く。

二人、南東方向に向かう。

追う、エイリアン集団。

しばらく続くチエイス。

武田、躓く。

右足の靴が脱げる。

信号の山口が登場。

山口 こつちよ！そのカボチャの馬車に乗って！

二人見れば、そこにはまさしくカボチャ型の馬車（西川）。

川畑 なんとっ！かたじけない！

川畑と武田、馬車に乗る。

馬車 ゴー！

馬車、出発。

エイリアン集団が来る。

エイリアン集団 カー！

山口 信号！赤！

エイリアン集団 カー？

エイリアン集団の行く手を阻む、山口の信号機。

道端に残された、一足の靴。

南東から井上・中村ペアが出る。

北西から川畑・武田ペアが出る。

次のシーンを狙う、二組のチーム。

「アッチ向いてホイ」が始まる。

井上・中村ペアの勝利。

越の声 シーン5

そこは、夢子が襲われたあの路上。

中村 こっちです。こっちの方から、女の子の叫び

声が……。

井上 もしや、また……。

中村 多分、いえ、絶対そうですわよ。あれよ！

井上・中村 女子高生連続失踪事件……。

中村 あつ、その顔！あなた、あの有名な井上警部。

井上 はい。

中村 大ファンなんです！いつも見てますわよ、家族揃ってねえ。土曜の9時は、一家で「土曜ワイド

劇場」。一週間で唯一、家族全員が集まる時間ですの。

井上 ありがとう！

中村 皆で推理対決しますのよ。でも、あなたには誰もかないませんわ。いつも、たった2時間で事件を解決なさるのよね。ほんと凄いわ！

井上 決まり事ですから……。ん？あれは！

中村 えっ！まあ！

二人の視線の先には、靴。

井上、靴を拾い上げ、調べる。

井上 あつ！（靴の中の文字を読む）「ゆ・め・こ」またか……。

中村 ゆめこ！……そ、それが何か？

井上 この事件。妙なことに、失踪した女子高生の名前が全て「ゆめこ」なんですよ。

中村 えっ！まさか、その中にあの子……。

井上 どうかされましたか？

中村 い、いえ、別に。

その時、井上の携帯電話が鳴る。

井上 (受話器に向かつて) 何っ!・・・分かった。

すぐに行く(電話を切る)。これ、これ。これがやりたかったのよねえ。

越の声 続けて!

中村 事件ですか?まさか!そ、その「ゆめこ」さん達の身に何か良くないことでも?

井上 いえっ。犯人と思われる人物から連絡がね。

電話する犯人(長谷川)の姿がオーバーラップ。

声 今夜0時までに、その「ゆめこ」を引き渡せ。さもなければ、こちらの「ゆめこ」達の命はない。約束を守れば、その引き換えに全員を解放しよう。待ってるぞ。場所は追って地図を送る・・・。

ファックスにて送付されてきた顔写真が、立体的にオーバーラップ。

井上 それは、あの「夢子」の顔・・・。

中村 ではっ!

井上警部、靴を持って走り去る。

あっ、ちょっと待ってよ!

中村、井上の後を追いかける。

一方、そこはエイリアン集団のアジト。

携帯電話を切る、長谷川。

彼女は、この集団の首領(ドン)。

越の声 シーン6

長谷川 これで、あの娘の居所はすぐに分かるわ。タイムリミットの0時まで、あと6時間。なんとしてでも・・・。さあ、おまえ達も探すのよ!

部下達 ケー-

部下達、消える。

長谷川 未来は渡さない!

転。

越、芝居を止める。

次のシーンについて、メンバーへ指示。

西川、舞台中央へ座る。

他のメンバーがその回りを囲む。

山口の舞台装置がセットされる。

越、芝居再開の合図。

越 シーン7！未来。時は西暦二千五百年。

一人の少女を、戦闘服姿の兵士が囲む。

兵士達 我らが救世主よ。さあ、歌をお教え下さい。

この世の最後の歌を。我ら革命軍に力を！

少女 ……。

兵士達 どうされました！0時を過ぎれば、この世は奴らの手に落ちてしまうのです！

少女 思い出せないのです、「最後の歌」を……

兵士達 えっ！

少女 どうしても思い出せないのです……。待って下さい。心を静めます。

一方、そこは敵軍の本陣。

長谷川が腕を組む。

その回りを、不気味なエイリアン集団。

長谷川 準備はいいか？

エイリアン集団 コー！

花田 タイムマシンの行く先設定を西暦二千年にセット致しました！

長谷川 よし！0時まで「ゆめこ」を消さなければ奴が歌ってしまう。我々は終わりだ。行くぞ。

花田 はっ！

エイリアン集団 コー！

再び、革命軍の隠れアジト。

兵士達 救世主様！

少女 もう少し時間を下さい。もしや、私の過去に異変が……。

兵士達 過去……。

転。

越 シーン8！現在！

川畑と武田が座り込んでいる。

山口は捨てられたジュークボックス。

山口 とある倉庫。私は捨てられたジュークボックス。シクシク……。

川畑 拙者は、長州藩・桂小五郎と申す。

武田 何か、聞いたことある！

川畑 時代を変えるのです。

武田 あっ、明治維新の人！

川畑 何ですか、それは？

武田 安心して下さい。時代は変わりましたから。

川畑 何ですと！

武田 そんなお侍さんが、どうしてここへ？

川畑 拙者にも見当つきませぬ。新撰組を斬っている最中でした。突然、雷が落ち……。気がつけば、あの場所に。すると、あなたの悲鳴が聞こえました……。

武田 タイムスリップって奴ね。

山口 タイツをスパッツに・・・

武田 あーちゃん！

山口 はい・・・。

武田 あつ、こんなところにジュークボックスがある！

川畑 何ですか、それは？聞き馴れない言葉の連続でござる。

武田 お金を入れると音楽が鳴る機械よ！

武田、ポケットからお金を取り出す。

ジュークボックスに入れる。

続いて曲を選択。

山口、適当に歌う。

川畑 うおっー！

武田 鳴った、鳴った。オンボロやけど壊れてへん。あつ、こんな曲まで入ってるやん。懐かしい。

次は、この曲！

山口、歌う。「今日の日はさようなら」

♪ あーすのひをー ゆーめーみーて

きぼーうのーみちをー

川畑 良い響きの歌ですなあ・・・

武田 小学校の頃を思い出すわ。キャンプファイアの最後。夏休みの最後。最後の歌・・・。

遠くより、パトカーのサイレン。

川畑 何の音でござる？

武田 警察よ！やったー！助かる！

山口 だめよ！逃げるのよ！

武田 何だよ！私がさつきピッチで呼んだんやで。

山口 バカ！あなたは捕まって、化け物に渡される。

武田 どうして、どうしてよ？

サイレンが近づく。

山口 私を信用してよ。いいから、逃げて！

川畑 よし、逃げよう！あつ！

強力なライトが二人を捕らえる！

井上 動くな！この倉庫は完全に包囲した。男は刀を捨てるのよ！

川畑 刀は武士の命・・・。

山口 だめよ！向こうは、銃でこつちを狙ってる。

武田 何でこうなるのよ？

山口 万事休す！

転！

越の声 シーン9！港！

山口 私は、港によくある、名前わからんこんなやつ。

山口、港によくある物体に変身。

一方に、長谷川とエイリアン集団。

長谷川 ご苦労様。あと一時間だったわね。
エイリアン集団 クー！

対して、武田、川畑、警察隊。

そして、なぜか中村のおばちゃん。

井上 さあ、これで取引だ。

武田 酷い、酷いわ。

長谷川 あなたが生きていると、未来が変わってしまうの。未来のためよ。

武田 あなたは誰よ？

長谷川 未来を救うべく、未来からやって来た、未来の戦士、未来です。

武田 ややこしい名前やなあ。

長谷川 うるさい！かわいそうだけど、命をいただくわよ。（武田に迫る）

武田 嫌や！最後まで生き残るんや！誰か、助けてや！

その時！

越の声 ちょっと待って！

武田 その声は、ママ母！

越、登場。

越 私の大事な娘を渡せないわ！どんなに苛めてても娘は娘。

武田 お母様……。

越 知らない間に、情がわいちゃってたようね。

続いて、船ヶ山登場。

船ヶ山 私の大事な妹に手え出すな！チェーンがあんたの首を叩き折るで！

武田 ガリ姉ちゃん！

船ヶ山 苛め相手がおらんようになったら、この腕がなまってしまいうからな。サンキュー、ハナ！

続いて、川畑がデブ姉に変わって登場。

川畑 まだお菓子、返してもらってへんからね。死なれたら困るわ。

武田 デブ姉まで……。ウウツ……。(泣く)。

中村 私も、その娘を渡すのは、断固拒否や！

武田 誰？

越 あ、あなたは！

中村 お久しぶり……。

越 夢子。この人は、あなたの生みの親よ。

武田 えっ！

中村 ごめんね。私がいたらなかったせいよ。あなたを生んですぐにあの家を出たの。ずっと我慢し

てたの。名乗り出ても、あなたを苦しめるだけやから。会いたかったわ、夢子！

武田 お母ちゃん！

中村 警部さん、ごめんなさい。私、一家揃ってあなたのドラマを見てるなんてウソを……。

井上 そんな家族に憧れていらっしやっただんですね。

中村 はい……。今まで、何もしてやれなかったここは命に賭けても、夢子を守ります！

武田 お母ちゃん……。

井上 実は私、ある事件で家族を巻き込んでしまつて……。私も家庭に憧れる一人です。気が変わりました。彼女は渡しませんよ！

長谷川 何！よし、おまえらも夢子と一緒に……。

川畑 拙者も命に賭けて、彼女を守りますぞ！

武田 小五郎さん……。

川畑 彼女は、心に希望の溢れる歌を教えてくださいましたんですよ。守ること以外、拙者に返せるものなどござらん。あの時代に戻つたら、同士達に歌つてやるんです……。

川畑、「あの歌」を口ずさむ。

すると、突然苦しみ出す長谷川。

長谷川 ウウツ。やめろ！

長谷川以外 えっ！

山口 さあ、今よ！皆で歌うのよ！あいつらは歌に弱いんだ！

全員、「今日の日はさようなら」の合唱。

未来がオーバーラップ。

西川 ♪ きょうのひはー さようならー

まーたーあーうひまでー

兵士達 うおー！救世主が歌を思い出したぞ！さあ、悪魔の軍をやっつけるんだ！おー！

現代に戻つて……。

長谷川、倒れる。

長谷川以外 やったー！

山口 おとなしく未来に帰るんだね。時代は変わっているはずだよ。歌を愛してみようよ。きっとおまえ達も苦しみから解放されるはずだ。

長谷川 本当か……。

山口 うん！音楽は、楽する音つて書くのよ。心が楽になるの。

長谷川 なるほど……。

山口 お侍さん！あなたも過去に戻れるわ。ここにきた原因は、未来のタイムスリップ。時間が歪んで、あなたもとばっちりを受けたつてわけ。未来さんが責任持つて寄り道してくれる。

長谷川 う、うん

川畑 かたじけない……。

武田 良かったね。これで時代と闘える。

川畑 おう。

武田 (山口へ)これは一体どういうことなの？

山口 未来達・悪魔軍は歌を聞くとエネルギーが吸い取られる体なの。夢子の子供の子供のずーっと子供が、悪魔に支配されそうになっている世界を救おうとしているのよ。あなたが伝えたあの歌でね。世界 最後の歌よ。

武田 最後の歌……。

全員 最後の歌……。

山口 さて、夢子。また、あなたにはやらなければならないことが残っているわ。タクヤ君のところへ行くの。

武田 待ち合わせから、8時間。もう待つてゐるわけないわ……。恋は終わったの。

山口 行ってみないとわかんないじゃない。夢子がタクヤ君と結ばれないと未来は完結しない。〇時まであと5分。待ち合わせの海岸までダッシュよ！

武田 えー！また走んの！

山口 あなたと皆の明日のためよ！シンデレラ！

武田 今のん何か、力沸いた。よっしゃ、走るで！おっと、最後に一つ聞いていい？

山口 どうぞ。

武田 あんたは一体何者？

武田・山口以外 ふんふん。

山口 フフフ。ある時は、鏡。またある時は、ドア。またまたある時は、以下省略。しかして、その実体は……。タイムカプセル。

武田・山口以外 タイムカプセル？

武田 タイムカプセル？

山口 或いは、物語の作家。頑張れば全ては叶う。

さあ、急げ！ラストシーンよ！

武田、走り出す。

やがて、待ち合わせの海岸が見えて来る。

そこには、恋するタクヤ君の後ろ姿。

その時、午前〇時を告げる鐘が鳴る。

山口の鐘が、塔の上で揺れている。

山口 カラーン。カラーン。

さて、これで、物語の中の物語は終わりだ。

花田、ラストのページを開く……。

えびろーぐ

ペンを走らせる、花田。

花田 足が止まってしまいそうになった時、私はこの言葉を思い出すことにしています。「アシタは明日の風が吹く」。すると、この胸は、希望と勇氣に満ち溢れ、この足は再び走り出して行くのです。そして、これを読んでいる未来の君へ。君の明日に、もし「アシタ」という言葉がなくなっているとしたら、どうぞ是非、探してみてください……。

風が吹き抜ける。

そこは、砂漠の海。

少女が本を読んでいる。

開かれているのは、最後のページ。

一人だったはずの少女は、いつの間にか二人に増えている。

そして、三人……。

四人……。

五人……。

やがて、砂漠は本を読む少女たちで溢れている。

花田の姿も、そんな少女たちの群れに紛れてしまつて……。

皆、一斉に本を閉じる。

天を仰ぐ。

星、星、星……、満天の星空。

この星に、太陽はもう昇らない……。

少女たち

アシタ……。

それは、不思議な響き。

素敵な響き。

暖かい響き。

夢のような響き。

幻のような響き。

忘れてしまいそうな響き。

懐かしい響き

いつまでも続く、少女たちの声。

それは、遥かなる過去から届いた声。

静かに、幕……。